

第31回全国医師会共同利用施設総会

2025年8月30日

令和 6・7 年 全国医師会共同利用施設 施設長検査健診管理者連絡協議会 活動報告

全国医師会共同利用施設 施設長検査健診管理者連絡協議会

会長 滝澤 貴昭

(赤磐医師会会長)

連絡協議会

1. 会員施設数

○会員数 75施設

○賛助会員 6施設

(都道府県医師会)

(令和7年6月現在)

2. 主な活動

○職員研修会

○施設紹介

○分科会

○情報交換会等

○アンケート調査

令和6年度

テーマ「早期発見は検査から」

会期 令和6年7月19日～20日

担当 中・四国地区

会場 タワーホール船堀（江戸川）

会場調整協力 江戸川区医師会

参加人数

会場 83名

Web 19名



中・四国地区チーム



徳山医師会
地域医療支援病院
オープンシステム
徳山医師会病院

山根 笑三生
中村 郁子



岡山市医師会
総合メディカル
センター

小笹 博基
熊崎 淳子



三次地区医師会
臨床検査センター

金本 実
森 美由紀



益田地区地域医療
センター
医師会病院

豊田 健治



福山市医師会
健康支援センター

土井 貴博

講演

講演Ⅰ

地域医療構想の取り組みについて

前厚生労働省医政局地域医療計画課課長補佐 松本 千寿先生

講演Ⅱ

軽度認知障害の診断を目的とした質量分析法による 血漿蛋白質の同時多項目測定

オープンシステム徳山医師会病院院長 中村 和行先生

特別講演

これからの医療と医師会共同利用施設

公益社団法人 日本医師会会長 松本 吉郎先生

分科会 「早期発見は検査から」

- 1 検査関連：臨床へのアプローチ
新規項目の導入、勉強会、追加検査のアプローチ
- 2 健診関連：受診率の向上
Web予約システム、システム部門、PHR
- 3 人事・管理関連：経営状況と組織管理
経営改善、労務管理、人材育成

共同利用施設からの発信

～新しい企画の紹介～

1. iPadを用いたオーダーリングの紹介

江戸川区医師会医療センター 山崎 貴之先生

2. 受診率向上に向けた取り組み

東松山医師会病院健診センター 北堀 浩也先生

3. 医科歯科連携による歯周病検診の試み

西宮市医師会診療所 横井 敏孝先生

令和 7 年度

テーマ「サステナビリティ 持続可能性」

会期 令和 7 年 7 月 1 1 日～1 2 日
担当 近畿地区
会場 姫路商工会議所

参加人数

会場	8 7 名
Web	2 5 名



近畿地区チーム



姫路市医師会

藤田 祐介
佐古井 久子
上野 敦士



奈良市総合医療検査センター

春田 貴
嶋崎 昌浩
堀江 真規



西宮市医師会診療所

橋本みちよ
横井 敏孝
高松 あずさ
丸岡 康子

総会・講演会会場の様子

(webによるハイブリッド参加あり)



講演

講演Ⅰ

共同利用施設を含む医療施設の災害医療施策について

厚生労働省医政局地域医療計画課

救急・周産期医療等対策室 新興感染症等医療対策室室長 近藤 祐史先生

講演Ⅱ

我々がMASLD/MASHの予防・改善のためにできること

天理よろづ相談所病院嘱託医師 西宮市医師会診療所顧問 松尾 収二先生

特別講演

地域医療における共同利用施設の役割～災害時の対応や支援～

公益社団法人 日本医師会会長 松本 吉郎先生

分科会 「面白い事への挑戦」

- 1 検査関連：①共同利用施設間での共有できること
②新規獲得
③集配体制
- 2 健診関連：①行政の仕事
②新規獲得
③PHR
- 3 人事・管理関連：①経営改善のためのチーム作り
②人材確保施策
③人材育成

分科会の様子



分科会1 検査関連のまとめ

a 共同利用施設間で共有できること

- ①容器の有償化状況
- ②機器のメンテナンス費用

b 利用施設の新規獲得

- ①共同利用施設の良いところをアピール

c 集配体制

- 正社員の割合、シフトの決め方
- 人件費・ガソリン代高騰への対応

分科会2 健診関連のまとめ

a 行政の仕事

- ①入札案件
- ②特定保健指導

b 健診の新規獲得

- ①オプション検査の導入
- ②外国人向け、富裕層向け健診

C PHR (地域連携、受診者への結果報告方法)

分科会3 人事・管理のまとめ

a 経営改善のためのチーム作り

- ①リーダーの選任
- ②委員会・会合
- その他、利用数に応じたポイント還元・懸賞

b 人材確保のためにはどのような工夫をしているか

- ①働きやすい職場作り
- ②給料、休み、正社員の割合

c 人材育成

- 現場任せか医師会全体か、講習

共同利用施設からの発信

～新しい企画の紹介～

1. 共同利用施設で共有できるシステムの開発について
広島市医師会臨床検査センター 藤本 誠先生
2. 電カル連携におけるPDF連携ソフト（ビューワ）の開発について
姫路市医師会 内川 太郎先生
3. 利用したい・働きたいと思える臨床検査センターを目指して
三次地区医師会臨床検査センター 金本 実先生

電子カルテに関する医療情報システムの現状

1. 標準型電子カルテ関連の現状について

日本医師会ORCA管理機構株式会社 石田 英明先生

2. 臨床検査基盤を活用した医療DXへの対応

株式会社ケーアイエス 高味 裕介先生

共同利用施設における医療情報システムの 共同利用開発の現状

★アンケート報告

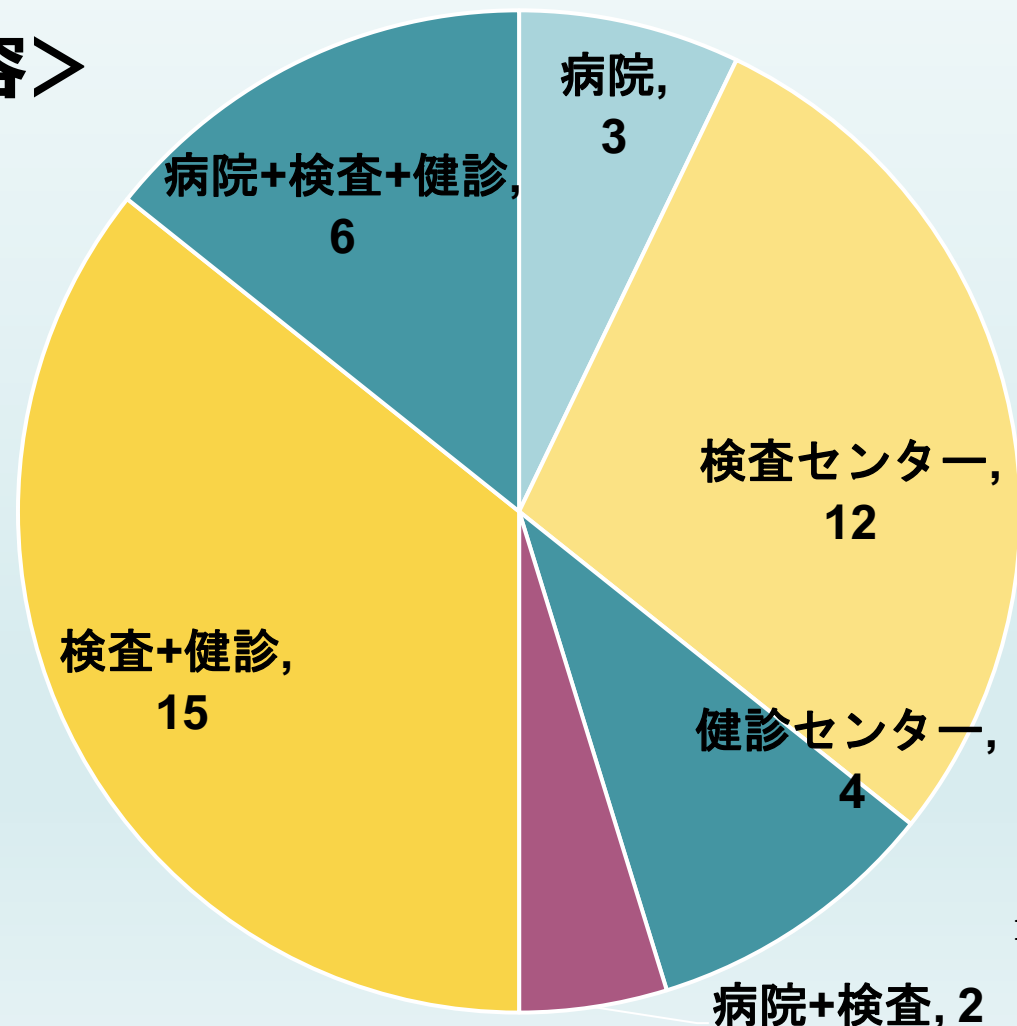
<事業内容>

姫路市医師会 藤田 祐介先生

アンケート期間：R7.4.40～6.14

回答施設数：42施設（50%）

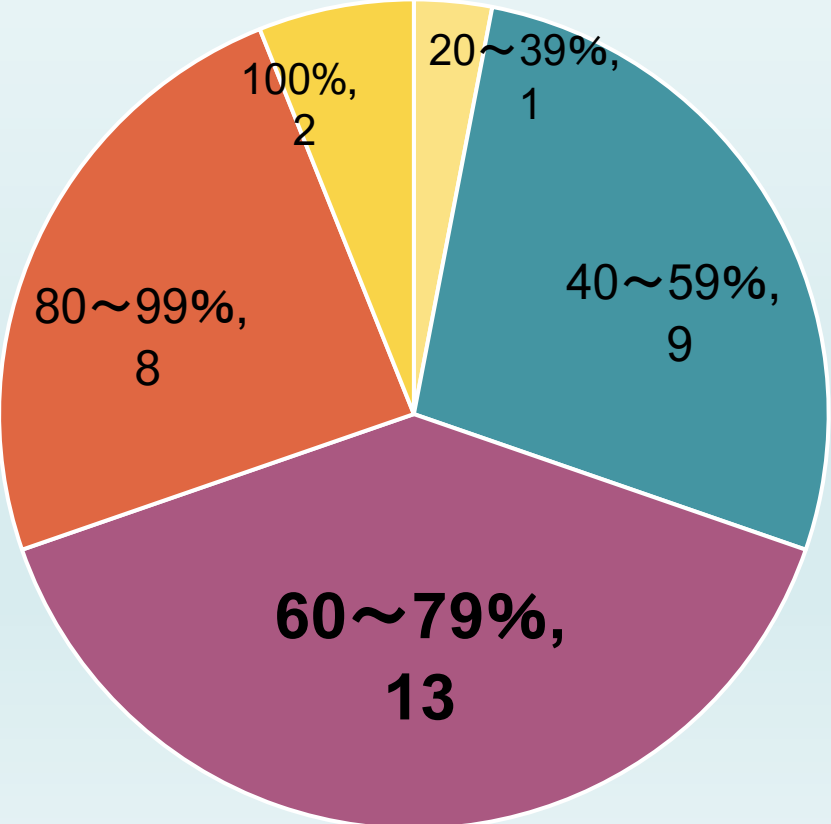
病院	検査センター	健診センター	病院+検査	病院+健診	検査+健診	病院+検査+健診
3	12	4	2	0	15	6



アンケート調査結果

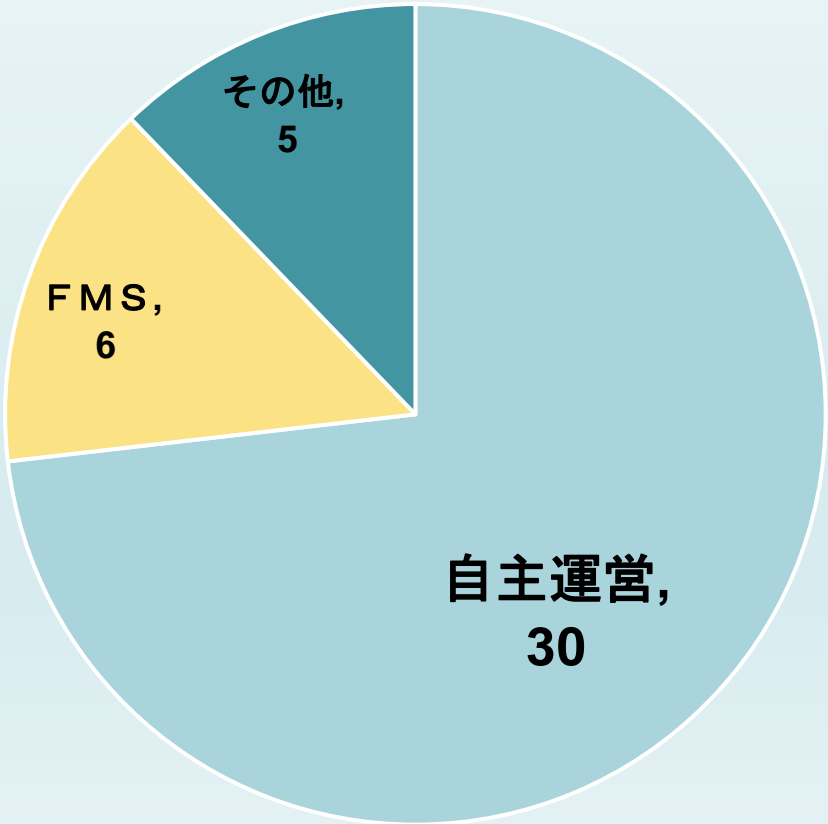
<検査センター> ●利用医療機関率（参考）

0～19%	20～39%	40～59%	60～79%	80～99%	100%
0	1	9	13	8	2



検査運営方式

自主運営	FMS	その他
30	6	5



アンケート調査（共同開発＆購入について）

- 料金体系は約85%が保険点数料率、15%が固定料金制を採用。
- 検査連携導入済の施設は、電カルやオーダリングなど全てに対応済み。

＜共同開発について＞

- 電カル対応や集配管理、PHRの共同開発、検査材料の在庫・発注管理、健診結果送信、患者への結果送信などのシステム開発を希望。

＜その他の共同購入について＞

- 試薬、医療材料、機器、保守費等が挙げられたが、共同購入した場合の管理運用方法、ボリュームによる差の取り決め等が課題。

情報交換会の様子



二年間の会長としての考察

設立・経営母体が都市地区医師会であり、決して経営環境には恵まれていない中であって、多職種の皆さんが、それぞれの立場から知恵を出し合い、大変前向きに取り組まれていることを実感した。

民間検査センターとの競合という課題の中、合理化や新規システム導入などの表面的なことにとらわれずに、医師会立であるという原点から、民間が引き受けたがらない不採算地域の集配などのサービス継続の事例も。民間の検査会社の中には、集配手数料を取るところが出た中で、このような姿勢は継続していただきたい。

共同利用施設検査センターに検体検査を依頼をしていた開業医が高齢化して、廃業も増える中で、新規開業のクリニックには、民間企業から強力な勧誘があり、利用医療機関の新規獲得には苦勞。

物価や人件費の高騰などに加えて、ソフトウェア・アプリ開発などを請け負っている複数のベンダー企業がこの分野から撤退するような事態が全国的に起きている。

連絡協議会を核とした各種のシステム開発により、コストを低減し、持続可能性を高める努力が必要。ただし各施設の末端機種への対応困難事例なども予想され、その柔軟な対応が期待される。



ご静聴ありがとうございました

次年度開催地

担当 中部地区

日時 令和8年7月17日（金）
～18日（土）

場所 富山県高岡市新横町1番地
高岡ニューオータニホテル

高岡古城公園 高岡万葉まつり